



平戸市議会だより

とかいせん



8月22日に市内9中学校から27人の生徒が議員となり、子どもの視点で平戸の現状や課題について一般質問を行いました。

燃油高騰緊急対策 予算決まる!

第14号

平成20年11月1日発行
9月定例会報告

contents	9月定例会で審議された案件と結果	2
	9月補正予算 どんな補正があるの?	3
	燃油高騰緊急対策予算決まる!	3
	決算特別委員会について	4
	意見書	4
	委員会活動報告!	
総務常任委員会	5	
産業建設常任委員会	5	
文教厚生常任委員会	6	

市政を問う! 9名の議員が一般質問に登壇

高田 謀議員、平石 博徳議員	7
塚本 雅英議員、八木原友子議員	8
住江 高夫議員、浦 莊蔵議員	9
辻 賢治議員、山田 能新議員	10
近藤 芳人議員	11

議会広報特別委員会 行政視察報告

トピックス!	12
議員、応急手当研修を受ける!	
ひびき	

議員、応急手当研修を受ける!

【取材・鮎川 學委員】

9月8日、全議員を対象に応急手当研修会が行われた。

まず、平戸市医師会の柿添圭嗣先生より「救命手当の必要性」及び「救命の連鎖の重要性」について講習を受け、続いて消防署の救急救命士による「AEDを用いた除細動」の実技が行われ、議員も実際に体験訓練を行った。

救急車が要請を受けてから現場に到着するまで、全国平均で約6分かかるといふ。

この空白の6分が傷病者の命を大きく左右することになり、救命措置の大切さを身をもって体験することができた。

市民のみなさんもぜひ一度体験していただきたい。



(八木原友子)

秋の夜長に
想ひ
ひびき

今年も秋がやってきた。当たり前のように冬支度が始まる。それはいつも変わらないと思っていた。ところが、当たり前に季節が移って行くことができなくなつて、今年などはカメ虫の被害でコメの取れ高が悪い。これまで植えてきたコメの品種が、地球温暖化の影響が収穫が出来なくなつたり、その地方の特産物であった果物や野菜がその場所に適さないという事態が起きている。

心の奥のずーっと奥の方で深い悲しみが湧き出てきて、美しい青い地球をどうか人類の英知で守ることが出来ますようにと祈らずにはいられない。

でもやっぱり、この恵みに感謝しながら、食欲の秋に舌鼓を打つ。



どんな補正があるの？

有害鳥獣被害防止対策事業
450万円



新世紀水産業育成事業
(大島地区藻場調査費) 300万円



小・中学校施設耐震改修事業
1,553万6千円



次世代育成支援地域行動計画策定に要する経費 200万円



議案第99号「平成20年度平戸市一般会計補正予算(第3号)」で、燃油高騰の緊急対策として、農林水産業へ総額4,000万円を補助することが決まった。

市独自の対策として、関係者に希望を与えるものと高く評価をするものである。

一方で、補助対象について十分な協議がなされたのかという質疑があり、これに対しては、「農林水産それぞれに業界全体を検証した上で実施する期間を設定し、分野選定に関してもあらゆる角度から協議を行い、今回の結論に至った。」との答弁があった。

今回対象とならなかった各分野についても、いろいろな制度の活用を推進するなど、救済に向け努力するよう産業建設委員会において要望された。

(文責・山田能新委員)

補てんの内訳		金額
水産業	沿岸漁業の燃油(A重油、軽油)	2,650万円
農林業	加温に使う燃油(A重油)	650万円
	ビニールハウス資材	700万円

燃油高騰緊急対策予算決まる！

平成20年9月平戸市議会定例会会期日程

月日	曜日	種別	内容	備考
9月1日	月	本会議	議案説明	
2日	火	休会	(議案研究)	
3日	水	本会議	一般質問	
4日	木	本会議	一般質問	
5日	金	本会議	議案質疑	
8日	月	本会議	議案質疑	
9日	火	委員会	付託案件審査(産建)	総務・P5、産建・P5 文教・P6に掲載
10日	水	委員会	付託案件審査(総務)	
11日	木	委員会	付託案件審査(文教)	
12日	金	休会	(議事整理日)	
15日	月	休会	(敬老の日)	
16日	火	本会議	議案審議、閉会	

※総務…総務常任委員会 産建…産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
※土日は省略

平成20年9月定例会が9月1日から16日までの16日間の日程で開かれ、平成20年度一般会計補正予算など報告3件、議案27件、請願1件、議員提出議案5件が提案され、そのうち決算議案12件については継続審査として閉会中の決算特別委員会に付託し、他はいずれも原案のとおり認めました。

9月定例会で審議された案件と結果

報告番号	件名	結果
12	専決処分の報告について	報告済
13	平成19年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃
14	平成19年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告について	〃
議案番号	件名	結果
75	平成19年度平戸市一般会計決算認定について	継続審査
76	平成19年度平戸市給与管理特別会計決算認定について	〃
77	平成19年度平戸市国民健康保険特別会計決算認定について	〃
78	平成19年度平戸市老人保健特別会計決算認定について	〃
79	平成19年度平戸市介護保険特別会計決算認定について	〃
80	平成19年度平戸市簡易水道事業特別会計決算認定について	〃
81	平成19年度平戸市農業集落排水事業特別会計決算認定について	〃
82	平成19年度平戸市宅地開発事業特別会計決算認定について	〃
83	平成19年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計決算認定について	〃
84	平成19年度平戸市水道事業会計決算認定について	〃
85	平成19年度平戸市病院事業会計決算認定について	〃
86	平成19年度平戸市交通船事業会計決算認定について	〃
87	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
88	公益法人等への平戸市職員の派遣に関する条例の一部改正について	〃
89	平戸市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	〃
90	平戸市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について	〃
91	平戸市図書館条例の一部改正について	〃
92	平戸市水道施設整備事業事前評価委員会設置条例の制定について	〃
93	平成20年度平戸市一般会計補正予算(第2号)	〃
94	平成20年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃
95	平成20年度平戸市老人保健特別会計補正予算(第1号)	〃
96	平成20年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃
97	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	〃
98	工事請負契約の締結について	〃
99	平成20年度平戸市一般会計補正予算(第3号)	〃
100	平戸市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	〃
101	平戸市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	〃
請願番号	件名	結果
2	郵政民営化法の見直しに関する請願書	採択
議案議番号	件名	結果
4	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
5	平戸市議会会議規則の一部改正について	〃
6	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	〃
7	道路整備の安定的な財源確保を求める意見書の提出について	〃
8	郵政民営化法の見直しに関する意見書の提出について	〃

決算特別委員会について

平成20年9月定例会において、継続審査となった議案第75号から第86号の12件（平成19年度一般会計決算認定及び各特別会計決算認定並びに各事業会計決算認定）について決算特別委員会を設置し、6日間の日程（9/18, 19, 22, 29, 30, 10/1）で審査を行った。

審査の結果は平成20年12月定例会で報告する予定である。

委員は左記の通り。

委員長	塚本 雅英
副委員長	山内 政夫
委員	住江 高夫
	高田 謀
	綾香 良一
	吉住 威三美
	辻 賢治
	竹山 俊郎
	森 能範
	田島 輝美
山田 能新	
近藤 芳人	

総務常任委員会

委員会開催日 9月10日
(文責・松山定夫委員長)

十分な説明を！

今回、本委員会に付託を受けた案件は議案6件、請願1件で、審査の結果、いずれも原案可決及び採択しました。ここでは特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。
(なお、「」の課名は所管課のこと)

「平戸市認可地縁団体印鑑条例」については、*公益法人制度改革関連三法の平成20年12月施行予定に伴い、条例の一部改正を行うものであるが、旧田平町及び旧大島村においては本条例の制定がなされていなかったため本旨が住民に十分熟知されていない面も散見されるところから、今後、機会をとらえて住民に対する説明等を行うなど、生きた条例の活用を要望した。

【総務課】

※ 公益法人制度改革関連三法の概要

① 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律

民法に定める公益法人に関する制度を改め、剰余金の分配を目的としない社団又は財

団について、その行う事業の公益性の有無にかかわらず、準則主義により法人格を取得することができる制度を創設し、その設立、機関等について定める。

② 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律

公益法人の設立の許可及びこれに対する監督を主務官庁が行う民法に定める制度を改め、内閣総理大臣又は都道府県による委員会の意見に基づき、一般社団法人又は一般財団法人の公益性を認定するとともに、認定を受けた法人の監督を行う制度を創設する。

③ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律

①及び②の施行に伴い、中間法人法を廃止するほか、民法その他の関連する諸法律の規定を整備する。

意見書

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

(要旨)

過疎地域の振興に大きな役割を果たしている「過疎地域自立促進特別措置法」が平成21年度をもって失効するため、これに代わる新たな過疎対策法制定を国に求めるものである。

道路整備の安定的な財源確保を求める意見書

(要旨)

平成21年度から道路特定財源を一般財源化することが明記され、道路整備を取り巻く環境は厳しく大幅に遅れるのではないかと危惧される。道路財源の安定的確保を図り、豊かな社会生活の実現と地域経済の発展を期することを要望するものである。

郵政民営化法の見直しに関する意見書

(要旨)

郵便、貯金、保険のサービスが将来とも郵便局において確実に提供され、国民の利便に支障が生じないよう、法的な見直しを含め、郵政三事業が一体のサービスとして運営されるよう要請するものである。

産業建設常任委員会

委員会開催日 9月9日
(文責・山田能新委員長)

今回、本委員会に付託を受けた案件は議案4件で、審査の結果、いずれも原案可決しました。ここでは特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。
(なお、「」の課名は所管課のこと)

事業の有効性について議論を！

「平戸市水道施設整備事業事前評価委員会設置条例の制定について」は、上水道区域内における「遠隔監視システム整備費」が平成20年度から対象（本市においては平成21年度事業予定）となり、国庫補助制度を適用するには、補助メニューごとに事前評価を受けなければならないということである。また、平成21年度に予定している大瀬地区未普及地域解消事業の国庫補助金の採択にあたってこの事

藻場の回復のために！

近年、大島地区の磯やけがひどく、これまでも十分な調査を行ったことが無かったことから、早期資源回復促進を図る目的で藻場調査を行うもの。

今回の調査は将来、藻場を公共工事として回復させる事業を目指すための予備的調査という意味合いも含まれているということなので、実態を十分把握するよう要望した。

【水産課】

閉会中の所管事務調査 (産業建設常任委員会) まちづくりの取り組みについて

調査日 7月28日

平戸城下旧町地区を担当課より説明を受けながら調査研修を実施した。

崎方町から現場を見て回ると、交流広場前からフェリー乗り場にかけて電線の地中化工事が行われていた。続いて、県道田ノ浦・平戸港線の崎方町から魚の棚町の商店街、約1キロメートルの間で説明を受けた。

伝統的な町屋にならって修景を行った家が点在していた。特徴としては、白壁を基調に木製の建具や手摺が通りから見えるようにしていることである。そして、まち全体が統一したものになるように取り組みが行われている過程が見て取れた。

委員からは歩道が狭く、障害物等も多いので歩きづらいこと、平戸独自の歴史・文化を絡めたまちづくりも考え取り組んでほしいこと、緑が少なくポケットパーク等の場も



▲町屋について説明を受ける委員

提供できないか、などの意見が出された。

また、田平港シーサイドエリア整備についても意見が出され、「地元の若手や魚市場関係者などの意見を十分取り入れ、田平港の持つ資源を生かし整備を行ってほしい。」などの意見が出された。

今ある整備計画を推進しながらも柔軟な視点に立ち、後世に残る町並みを作り出すことを期待する。

【都市計画課・田平支所産業建設課】

文教厚生常任委員会

委員会開催日 9月11日 (文責・山本芳久委員長)

今回、本委員会に付託を受けた案件は、議案6件で、審査の結果、いずれも原案可決しました。

ここでは特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。(なお、【】の課名は所管課のこと)

平戸市図書館条例の一部改正!

社会教育法及び関係省令の一部改正に伴い改正するものであり、内容は、

①社会教育における活動の機会を、図書館事業として、積極的に提供・奨励することを明記した。

②地域住民をはじめとする利用者への声を十分に反映して運営を行うために図書館協議会委員の委嘱要件に、「家庭教育の向上に資する活動を行う者」を追加した。

平戸市図書館協議委員10人

小・中学校施設耐震診断にかかる委託料追加!

小学校3校6棟分、中学校3校8棟分の耐震診断委託料が追加補正された。

本市の小・中学校30校、98棟のうち、耐震診断が必要な学校施設が59棟ある。危険度の高い棟から年次計画を立て耐震診断を行っており、今年度は16棟を計画している。学校は緊急時の避難箇所となっているので、その棟を優先的に行うことも必要ではないかとの意見があった。

学校施設が緊急時の避難箇所になることはもとより、児童・生徒の安全、安心を確保する上からもできるだけ早急な対応方を要請した。

【教委庶務・学校教育課】

【文化遺産課】

【福祉事務所】

【教務庶務・学校教育課】

平戸和蘭商館一六三九年築造倉庫復元整備工事にかかる工事請負契約9億3975万円を可決した。

【文化遺産課】

【福祉事務所】

【文化遺産課】

平戸市独自の燃油高騰対策について 旧町地区(市街地)のまちづくりの取り組みについて



高田 謀議員

問 原油高によるところの日本経済の悪化は、今日、中小企業や農漁業者などへの大きな打撃となり、国民生活にも深刻な影響となっている。特に

水産業の盛んな本市にとっては漁民の苦悩は重大であり、漁業者の皆さんや漁協などが少しでも安心や希望を持てるような、平戸市独自の対策ができないものかお尋ねする。

【市長】財政健全化に取り組み中で、市単独の補助金創設は大変厳しい状況であるが、本市の基幹産業である農林水産業の振興を図り、経営基

盤の強化推進のためにも、関係団体との調整を図ってきたところでもあり、また高田議員からもいろいろ情報提供をいただいたので、そういったところも含めて、早急に市として何が出来るかということを検討した中で、今年度中の臨時的措置ではあるが、緊急的な燃油価格高騰に対する支援策として、今議会に追加提案をするよう考えている。

【農林課長】ながさき西海農協や施設園芸の各部会などの要望等もあり、直接燃油を必要とする各農家及び菌床しいたけ生産



平石 博徳議員

問 平成21年度以降の振興計画はどのような方針で策定するのか。財政が厳しいことは十分承知はしているが、現在、

活動の場として活用できる。また予防医療を推進するために雨天でも使える「屋内施設」である南部市民体育館屋内運動場を残すべきと思うがその対応について伺いたい。

【市長】地域の要望や現状を把握し、早急に耐震調査を行い、結果を待って改修していく。

【生涯学習課長】南部市民体育館は、湿気が原因による床面の腐食により使用上危険なため、平成18年4月から休館している。現在その床面を取り除いて雨天

時などの屋内運動場としての改修を検討している。築後約40年余りが経過しており耐震調査の対象施設となっているので、まず耐震調査を実施していくのが先決と考える。

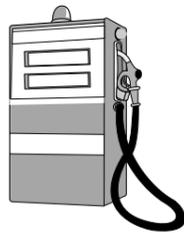
【生涯学習課長】南部市民体育館は、湿気が原因による床面の腐食により使用上危険なため、平成18年4月から休館している。現在その床面を取り除いて雨天

【市長】地域の要望や現状を把握し、早急に耐震調査を行い、結果を待って改修していく。

【市長】現在の地上アナログ放送が平成23年7月で地上デジタル放送へ完全移行となるため、現在使用しているテレビでは映らなくなる。新たな機種や部品等が必要になるが、学校や公共施設の対応はどのようにするのか。また、高齢者や障害者などへの支援はできないのか。

【市長】総務省の計画によれば平戸市は今年の11月から12月頃に中継局が開局される予定であると聞いている。市としてやるべき事は、受信が不可能なところをよく把握して、それについて窓口となって相談にのることが必要だろう。市民に対してPRしていくことも必要と思う。

【市長】今年3月、新しい学習指導要領が「生きる力の育成」を主眼として改訂された。この新しい学習指導要領の改訂の基本方針について尋ねる。



交流人口増(研修及び合宿)の施策について



賢治議員

研修及び合宿の過去の実績を見て、誘客に対する積極的な施策が無かったように思う。パンフレットに観光スポットや食の魅力を紹介したり、DMを発送したりするなどしてほしい。研修合宿対策の予算化

を図り、計画的な誘客活動を行う考えはないか。
【観光商工課長】誘客については、振興公社や観光協会との連携でセールスを行った。誘客活動を精査し、問題を検証しながらパンフレットのリニューアルや係る経費については、予算の確保に努めたい。

【市議員】スポーツ合宿の拠点となるライフカントリーの芝の改善が行われたが、計画外の5000平方メートルの芝の劣

化が進んでいる。環境整備や維持管理の面からも早急な対策が必要である。今後の対応をお尋ねしたい。
【生涯学習課長】ライフカントリーの快適なスポーツ環境を保つことは、市民のスポーツ振興や大会、合宿誘致の推進を図る上でも重要である。年間を通じた施設利用の面からも予算の確保を図り、再生力が高いティフン芝への切り替えを計画的に実施していきたい。

【市議員】入湯税の課税免除の要件に「高校生以下の修学旅行の生徒」とあるが、それ以外の中高生の合宿等については規定されていない。学習合宿やスポーツ大会など誘客の面からも、条例改正を含めた中高生の課税免除を検討する考えはないか。
【税務課長】交流人口の拡大からも市内外の中高生の合宿は、地域活性化の原動力となりうる可能性もある。入湯税の課税免除以上に本市への収入につながる要素も大きい。今後、関係各課と十分な協議を行い対応したい。



▲グラウンドの外側の芝が未改修

市内小中学校の統廃合について



山田 能新議員

少子化によって各小中学校の児童生徒数が激減している。例えば、一人で入学して一人で卒業しなければならぬ児童がいる地域が増えている。このことで本来集団で学ぶべきことや、グループ活動でのルー

ル習得、社会性の習得などが大きく低下する恐れがある。そこで、平戸市教育委員会としてこの問題をどう捉え、学校の統廃合にどう取り組むのか尋ねる。
【教育長】児童生徒数の状況であるが、市外への流出や少子化の影響により減少し続けている。市全体で毎年約100人の児童が減少しているのが現状であり、市内の小中学校では複式学級を有する学校が増えている。特に中部地区、南部

地区においては小学校11校のうち9校が複式学級を有する学校である。
学校統廃合の問題は平戸市の公立学校として避けて通れないことと考えており、本年度より市教育委員会内部の担当者による協議会を立ち上げ検討を始めている。

統廃合の方針としては何よりも子ども達により良い環境の中で社会性の発達や個性の伸長を考え、ある程度の児童数を確保し、その中で学校教育を行う事が肝要であると考えている。しかし

ながら、地域にとって学校は大切な文化的財産であり、学校がなくなることで地域活力の低下も懸念される。教育委員会としても保護者、地域の方々の声を十分聞きながら統廃合について慎重に取り組んでいきたい。
【市議員】学校の統廃合をせず合同学級、合同授業を取り入れ児童の社会性や集団生活でのルール習得に取り組んでいる学校が宮崎県の五ヶ瀬町にあるが、平戸市としてもこのような方法を取り入れる考えはないのか尋ねる。

【学校教育課長】五ヶ瀬町の取り組みは、小規模校を統廃合することなく、大人数の中で学習する機会を与えることもできる。また、教職員全体の数を確保しながら習熟度別指導等にもより柔軟な教育配置ができる。平成17年度・18年度に大川原小学校、獅子小学校で同様の合同授業を実施した経緯もある。今後、乗り越えなければならぬ課題もあるが、小規模校のマイナスイ面を克服する貴重な取り組みであり検討する。

命の水の確保に向けた今後の水道事業のあり方について



近藤 芳人議員

今春の渇水経験を踏まえ雨水を活用できないか。
【市長】雨水は大いに利用すべきであり、今からつくる公的施設についてはぜひ導入すべきと考える。
【市民課長】住民の利用という

点では市内に1千以上あると思われる井戸とともに、雨水利用ニーズについて調査したい。
【水道局長】水道未整備地区における一般市民の初期消火に雨水タンクが有効と考えるが。
【消防長】そう思う。推進したい。
アオコやトリハロメタン、塩素をどのように管理監督されているか。
【水道局長】生月、田平のダムでアオコが発生し

た。水質自体には問題ないが臭気を伴う。生月は水流発生装置の故障が原因。田平ではEM菌の投入によるpHの安定化と、攪拌に努めたが5月に発生し半日ぐらいで増殖したが硫酸銅の使用で繁殖は治まった。
【水道局長】鉛製の給水管を塩ビ製のものに替える動きは必須である。本市においてどう捉えているか。
【水道局長】一部、集合住宅や旧来の建物の中に残っている可能性はあるが基本的には鉛製給水引込管はない。

大型施設には受水槽方式が多く採用されているが、新鮮な水を供給するため直結方式を推奨すべし。
【水道局長】今後は安全・安心、新鮮という観点から基準に該当すれば直結型も認めていくべきと思う。
水を販売する立場である水道局として「うまい水」という点で、平戸の水をどう評価しているか。水道水をおいしく飲めるこだわりの飲み方(レシビ)を普及させる努力も必要。高いペットボトルに流れている

【水道局長】そういった必要を水道水に戻すというくらの営業マインドを持ってほしい。
【水道局長】そういった必要を水道水に戻すというくらの営業マインドを持ってほしい。

議会広報特別委員会 行政視察報告

実施日 7月2・3日
(文責・八木原友子委員長)

議会だよりを「より見やすく、より読んでもらえるもの」にいかにしていくかを目的に長崎県壱岐市で視察調査を行った。

壱岐市議会広報特別委員会(以下、壱岐市)は定数6名の委員からなり、現在は、鶴瀬委員長のもと委員会活動を行っている。今回の調査の際も、全員の委員が出席され、

さまざまな意見・アドバイスを教示いただいた。
①レイアウトについて
議会だよりの顔とも言える「表紙」は、旬な行事などで「子ども」の写真を撮り、それを採用している。理由として、①やわらかいイメージがもてる、②子どもを通じて両親、家族、身近の話となり、手にとりてもらえるきっかけとなる、③人

物を感じることで「生」を感じられる効果がある。
また、議案質疑や過去の質疑の追跡記事の「枠」を取り入れていることが特徴的だった。
壱岐市では、より親しみやすい紙面を目指すために「マスクットキヤラクター」を取り入れた。
③一般質問について
質問部分は質問者本人が作成し、答弁部分は広報委員会が議事録を見て作成している。文字数をそれぞれ300文字と制限

【所感】
今回、同じ県内の同じ人口規模である壱岐市を参考にさせてもらったが、実に意欲的で「開かれた議会」を目指していることが感じられた。
議会で起こっていることをより高い透明性をもって伝えるこ



▲鶴瀬委員長より説明を受ける委員

とを目標に委員会活動を行い、ただ発行するだけでなく、情報発信の意義・重さということを改めて考えた紙面にしなければならぬことを感じ研修を終えた。